

The Sinfonietta

第5回演奏会

1991年7月21日 (SUN) 6:30開演

熊本県立劇場コンサートホール



指揮
山下一史
(NHK交響楽団 副指揮者)



ヴァイオリン・コンサートマスター
安永 徹
(ベルリンフィル第1コンサートマスター)

ロザムンデ間奏曲第3番D.797.....シューベルト
ヴァイオリン協奏曲第5番イ長調K.219モーツァルト
交響曲第9番八長調D.944「ザ・グレート」... シューベルト
(安永徹氏が客演コンサートマスターとして出演)

●全席自由席/¥2,000(学生¥1,000) 市内各プレイガイドにて発売中
●主催/ザ・シンフォニエッタ ●後援/熊本県・NHK熊本放送局・RKK・熊本日日新聞社
(お問い合わせ) 坂本0967(72)4143 Fax0967(72)4495



NHK交響楽団 副指揮者

やましたかずひろみ

山下一史プロフィール

1961年／広島県に生まれる。

桐朋学園でチェロを井上頼豊氏、指揮を尾高忠明、小澤征爾、秋山和慶、森正の各氏に師事。

1984年／桐朋学園大学卒業後、西ドイツのベルリン芸術大学に留学、研鑽を積む。

1986年／6月、デンマークで開かれた「ニコライ・マルコ国際指揮者コンクール」で優勝。

9月、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の「第9演奏会」で、カラヤン氏急病のため、急遽代役をつとめ、好評を博し、話題となった。

1987年／1月、デンマーク放送交響楽団、ライナス交響楽団、ソングーイルランド交響楽団等デンマークのオーケストラを指揮。

1988年／1月、第14回「若い芽のコンサート」でNHK交響楽団を指揮して、ストラヴィンスキーの舞踊組曲「火の鳥」を演奏。スケールの大きな演奏で 評判を得、衝撃的なN響デビューをかざった。

8月、ショパン作品全曲演奏会で園田高弘氏と協演。

9月、こここのところ副指揮者を置かなかったNHK交響楽団から指名を受け、契約(英語名/Associate Conductor)。

12月、早稲田大学オーケストラとフィリピンに演奏旅行。アキノ大統領臨席の演奏会を指揮。

1989年／4月、NHK交響楽団定期演奏会の指揮者に抜擢、B定期でベートーベンの「交響曲第2番」、ストラヴィンスキーの「春の祭典」、武満徹の「弦楽のためのレクイエム」と、古典から現代まで幅広い音楽性を披露。東京での本格的演奏会は、満場のブラボーの声の中で大成功のうちにおえた。

1990年／3月、名古屋フィルハーモニー交響楽団の定期演奏会を病気の 渡邊暁雄氏に代わって指揮。

4月、オーケストラ・アンサンブル金沢のプリンシパル・ゲスト・コンダクターに就任。

ベルリン・フィル第一コンサートマスター 安永 徹プロフィール

1951年福岡生まれ。江藤俊哉氏に師事。桐朋学園大学在学中、第40回音楽コンクール第1位。75年ベルリン音楽大学入学。M. シュヴァルベ氏に師事。77年ベルリン・フィル入団。以来オーケストラ活動他、「ベルリン弦楽ゾリステン」「ニッポン・オクテット」等のリーダーとして日本、ヨーロッパ全域などで活躍。

83年遂に弦楽器奏者の頂点ベルリン・フィル第一コンサートマスターに就任。世界第一級の音楽的才能と人間の誠実さ、そしてリーダーシップを兼ね備え、我が国音楽界の「誇り」といわれている。

初のソロCD(安永徹ヴァイオリン・リサイタル、ピアノ:市野あゆみ)で平成2年度文化庁主催の芸術祭「作品賞」を受賞。

The Sinfonietta

1986年、熊本大学フィルハーモニーオーケストラ出身者を中心に結成された。演奏会の回数は少ないが、1年1回の本番へ向けての練習の積み重ねと本番の集中力で毎回好評を博している。メンバーの努力に加えて、今回の山下一史氏、安永徹氏との共演に代表される数多くのすばらしい音楽家の指導もあり、次第に実力をつけてきている。この第5回演奏会もファンの大きな期待を集めている。

